

山村留学生在青年会事業に参加  
町ならではの地域活動に充実感



子どもたちと笑顔を見せる都雅さん④と陽菜さん

葛巻高生は、「総合的な探究の時間」における葛巻町の課題解決学習をはじめ、町内でのインターンシップや、商業科目で取り組む「おでってマーケット」など、葛巻町だからこそ実現できるフィールドワークに積極的に取り組んでいます。  
今回は、学校外においても主体的に地域とつながりを持ち、さまざまな活動に挑戦している生徒を紹介します。

12月24日、町青年連合協議会主催の「サンタが家にやってくる」事業に山村留学生の藤田都雅さん(1年)と上館陽菜さん(同)が参加しました。2人は江刈地区を担当。事前に聞き取った子どもたちの将来の夢などについて青年会員から説明を受けながら、子どもたちに優しく「メリークリスマス」と声をかけ、プレゼントを手渡し、温かな交流の

時間となりました。都雅さんは「人と関わること大切になりたい」と思い、山村留学を選んだ。地域に関わることでできる貴重な機会になった」と話し、陽菜さんは「葛巻町の子どもたちと接する活動は初めて。これからも地域ぐるみの催しに積極的に参加したい」と、充実した活動だったことがうかがえました。(関連記事13ページ)



文化団体の一員として出演  
葛巻高校生地域の舞台で輝く

▼葛巻みんよう伝承会のステージの様子



吉澤天誠さん(1年)と鈴木一瑛さん(同)が、1月11日に葛巻小体育館で開催された第8回芸能まつりに、葛巻みんよう伝承会の一員として出演しました。天誠さんは、町内在住の祖父の影響で小学校時代から伝承会で活動しています。山村留學生の一瑛さんは、地元福島の小学校時代に三味線を習った経験があり、葛巻高校に入学後、勧誘を受けて加わりました。天誠さんは「同じ世代で三味線に取り組む人がいて、心強く

感じた。友達と一緒に活動できるのが楽しい」と共に活動する喜びを語り、一瑛さんは「伝承会の皆さんが、本格的に民謡に取り組んでいることに刺激を受けた。これからも地域の皆さんと交流を深めたい」と意欲を語りました。  
多くの来場者を前に、堂々と岩手の民謡「外山節」を三味線で伴奏した2人は、緊張しながらも達成感に満ちた表情を見せ、練習の成果と熱意が感じられる舞台となりました。(関連記事16ページ)



葛巻高校の生徒であればあなたでも無料で利用できます。

葛巻町学習塾は、葛巻高校のセミナーハウス「勇往会館」にある公営塾で、葛巻高校の生徒の自学自習の場として、平成29年9月に開設し、令和8年9月で10年目を迎えます。

豊富な参考書と設備が整い、学校の授業の復習など、目的に合わせた学習が可能です。

現在は約7割(令和8年1月現在)の生徒が利用しており、生徒それぞれが学習状況や進路希望に応じた個別カリキュラムで学習に取り組んでいます。

■夏・冬休み期間など中学生を対象に体験会を開催しています。興味のある中学生の皆さん、ぜひご利用ください。

葛巻町公営塾  
☎67-1900  
平日 17:00~21:00  
土曜 9:00~19:00  
日祝 休講



**高校生記者レポート**

今月の担当  
谷地 樺林 (2年)

お世話になった先輩方との別れが刻一刻と迫ってきました。寂しい気持ちもありますが、これまでの感謝の気持ちを込めて、予餞会や卒業式に取り組みたいと思います。

考査に立ち向かう

充実した冬休みが明け、1月13日は始業式でした。あと2カ月で、1・2年生は学年が上がり、3年生はそれぞれの進路に進みます。2年生を振り返ると、修学旅行に葛巻祭など、さまざまな行事がありました。このような充実した毎日を送ることができたのは、先生方や親、地域の方々の温かい支援のおかげです。今後



始業式での校長あいさつ

葛巻高校生のための奨学金制度

町では、葛巻高校生の修学にかかる費用や、葛巻高校から大学に進学する場合の学費を支援するため、町独自の奨学金制度を設けています。詳しい内容や申請方法はお問い合わせください。

葛巻育英奨学金

葛巻高校への進学および大学進学希望者向け

▶対象者  
葛巻高等学校に入学する生徒および葛巻高等学校を卒業し、大学に入学する学生

▶奨学金の額  
①葛巻高等学校入学者 14,000円(月額)  
②大学修学者 50,000円(月額)  
☎葛巻高等学校事務室 ☎66-2624

三浦梧楼育英奨学金

国公立大学進学希望者向け

▶対象者  
葛巻町出身者で葛巻高等学校を卒業し、国公立大学に入学する学生

▶奨学金の額  
①修学費 50,000円(月額)  
②入学支度金 100,000円  
☎こども教育課 ☎65-8989



始業式の様子

も感謝の気持ちを忘れないうようにしたいです。また時間の流れはあっという間で、私たちも3年生になります。実感は湧きませんが、周囲から「もう受験生だよ」「3年生だよ」と言われると現実味を感じます。クラスの仲間たちとは、進路実現に向けて抱えている課題は同じではありませんが、葛巻高生として協力して乗り越えていきたいと思っています。